

事業名	和田はたおり保存会						
ジャンル	家庭教育	・	青少年教育	・	成人教育	・	団体育成
日程	令和3年4月～令和4年3月	講師	-	参加費	・会費 ・市予算 (報償費、消耗品費、物品修繕費)		
対象者	保存会会員	参加者数 (延べ)	12名	募集方法	必要な場合は会員募集をかける		
趣旨	地域との交流を図りながら、和田地区に伝わる機織りを伝承・保存・活用し、地域の発展と文化の向上に寄与する。						
内容	①毎週金曜日の機織り作業：作品の機織り作業 ②市内小学生等見学対応：市内小学生の和田ふるさと館歴史民俗資料室見学時の機織り体験対応 ③和田文化工芸展出品：11～12月展示実施 ④各種協力依頼対応等：中央公民館主催藍染め事業への協力						
工夫	①毎週金曜日の機織り作業：時間を午前限定して実施 ②市内小学生等見学対応：機織りの説明を実施(体験ではなく) ③和田文化工芸展出品：通常活動場を展示スペースとして実施 ④各種協力依頼対応等：早い段階から協議を実施						
成果	①毎週金曜日の機織り作業：円滑に活動が出来た。 ②市内小学生等見学対応：非接触型対応により安心安全を図れた。 ③和田文化工芸展出品：より良い展示を実施出来た。 ④各種協力依頼対応等：円滑に事業を推進出来ている。						
課題	①毎週金曜日の機織り作業：作業時間の不足 ②市内小学生等見学対応：機織り体験機会の提供不足 ③和田文化工芸展出品：展示作品の減少 ④全体を通して：まだまだコロナ禍は続くため、継続していけるよう支援していく必要がある。						

【公民館による事業評価】

項目	評価	視点
必要性	A	・公民館が行う必要があるか。 ・市民や利用者のニーズに合っているか。 ・目的や役割が薄れていないか。 ・事業の休止・廃止した場合の影響は大きいかな。
優先性	A	・事業の優先度は高いか。
公平性	A	・対象者に情報は流れているか。 ・受益者負担はあるか(実費・教材費)
有効性	B	・期待通りの成果が得られているか。 ・さらに成果を高めるためにやり方の見直しは必要か。 ・市民の満足度は高いか。
効率性	A	・事業の効率性はどうか。 ・事業運営に学習者が参画しているか。 ・他事業との統合は考えられるか。
総合評価	A	A：適切で成果が得られている。 C：課題あり、成果があまりない。 B：課題あり、成果はある程度ある。 D：成果が得られていない。
特記	令和2、3年度は主たる事業がスムーズに実施出来ていないが、団体支援の重要性は高く、今後も引き続き継続していく必要がある。	

《凡例》 良い ← A B C D → 良くない	《判定例》 A } A } A } A } A } A } A } B } B } A } A } A } A } A } B }
-----------------------------	--

次年度展望	②	①：事業拡大 ④：目的達成により終了	②：現状規模で継続 ⑤：統合・改善・その他	③：事業縮小
-------	---	-----------------------	--------------------------	--------

団体育成事業

『各種団体への支援について』

佐倉市立和田公民館

内 容

I 団体支援について

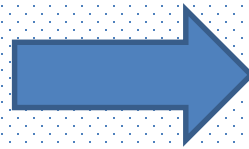
II (事業系団体への) 主導・協同・協力型支援

III 今後について

1. 団体支援について

(1) 地域の課題

- ①人口減少・少子高齢化
- ②後継者問題
- ③産業の低迷
- ④自然環境の乱れ
- ⑤災害の増加
- ⑥アイデンティティ喪失傾向



将来への不安

(2) 地域団体の課題

- ①担い手不足：若年層の流出
- ②役割の多様化：住民ニーズの複雑化、行政からの移管
- ③主体性向上の必要性：伝統工芸等への理解の希薄化

(3) 事業系団体（公民館主催事業に係る団体）の課題

- ①会員の減少・高齢化：世代交代の必要性
- ②活動内容の達成度低下；長引く感染症等
- ③事業予算の削減：厳しい財政状況

(4) 社会教育団体（施設利用団体等）の課題

- ①会員の減少・高齢化：講師引退による指導者の不足
- ②広報活動フォローの必要性：団体活動PRが上手くいかない、会員募集の方法の選択についてアドバイスが欲しい等
- ③継続への意義づけの困難さ：団体活動に意義がもてなくなっていく。

(5) 公民館の支援

- ①地域団体への協同・協力
- ②事業系団体への主導・協同・協力
- ③社会教育団体への協力

地域の生涯学習・社会教育基盤を固める

- 地域活性化
- 地域づくりの推進
- 持続可能性の向上
- 安定した行政運営

団体種類

地域団体

- 1 和田地区青少年育成住民会議
- 2 和田小学校PTA民俗資料収集委員会
- 3 和田地区社会福祉協議会
- 4 和田地区区長協議会

事業系団体

- 1 和田はたおり保存会
- 2 和田手芸教室
- 3 和田剣道教室

社会教育団体
(施設利用団体)

和田公民館関係団体

団体種類	団体名	団体規約	事務局機能※	事業評価対象
地域団体	和田地区青少年育成住民会議	○	○	○
	和田小学校PTA民俗資料収集委員会	-	○	○
	和田地区社会福祉協議会	○	-	-
	和田地区区長協議会		-	-
事業系団体	和田はたおり保存会	○	○	○
	和田手芸教室	-	○	-
	和田剣道教室	○	○	-
社会教育団体		任意	-	-
※公民館が事務局機能をもつ				

Ⅱ（事業系団体への）主導・協同・協力型活動

はたおり保存会について



【活動目的】

和田地区に伝わる機織りの技術を伝承・保存するための活動を行うとともに、和田ふるさと館歴史民俗資料室所蔵の機織り機等を活用して、来館者に対する動態展示や体験講座を実施して、伝統文化の普及を図ることを目的とする。

【組織】 会長、副会長、書記、会計各1名 他

【活動場所】 和田ふるさと館 ふるさと伝承室

【活動日】 毎週金曜日 午前10時～午後3時

[保存会のあゆみ]

昭和45年 4月
47年 3月
50年 7月
51年 6月
53年 6月
56年 6月
61年 4月
平成 元年 10月
4年 3月
7月
9年 10月
11年 10月
13年 4月

15年 10月
平成24年度
平成27年度
平成30年度

和田小PTAが民俗資料の収集を始める。

和田小に郷土学習室開設。

和田公民館新築、郷土学習室を公民館に移転。

第1回はたおり講座

第2回はたおり講座

第3回はたおり講座

第4回はたおり講座

第5回はたおり講座

郷土学習室を整備して、民俗資料室とする。

「和田地区民俗資料」佐倉市指定文化財指定。

第6回はたおり講座

民俗資料が佐倉市に寄贈される。

和田ふるさと館に歴史民俗資料室を開室。

(ふるさと伝承室での活動が始まる)

第7回はたおり講座

会員募集〈募集のみ〉

第8回はたおり講座

第9回はたおり講座

- ・初代メンバーが集まる。
【後に「手織りの仲間さくら」
として分派する方々も参加】
- ・その後講座ごとにメンバーを
募る

はたおり専門の施設が整備される。



これまでの市内における
はたおりに関する活動

令和2年度以降の活動

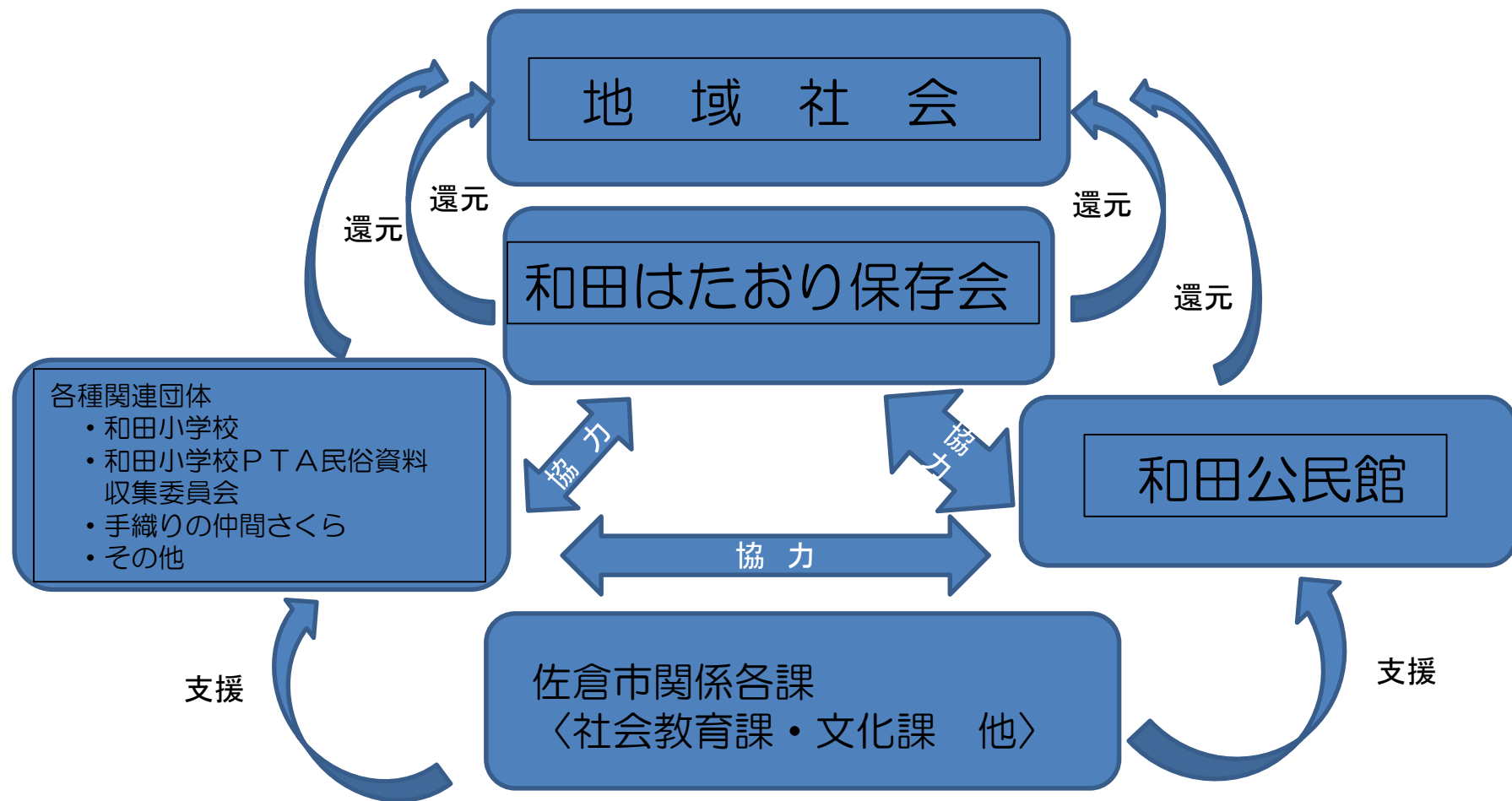
主体 和田はたおり保存会
和田公民館



主体・支援
和田はたおり保存会
和田公民館
+市内各種団体
+文化課等各機関

□主体に支援をプラスしていくことにより、
地区のはたおりから市でPR出来るはたおりなどを視野に
入れた活動の推進

和田はたおり保存会の活動イメージ



はたおり保存会・コロナ禍での活動状況

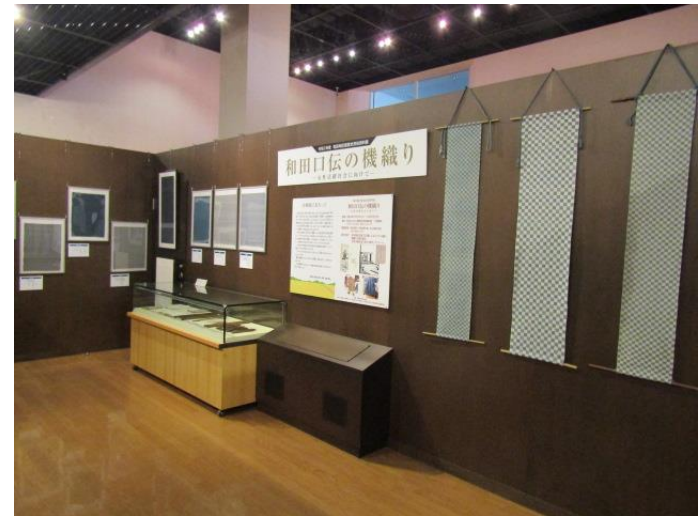
-令和2年度-

- 時短運営：通常午前10時～午後3時を午前中のみの活動へ
- 企画展示協力：分派団体「手織りの仲間さくら」と共に
公民館企画展示事業『和田口伝の機織り』〈11～12月〉に作品展示・
来館者説明等で協力

-令和3年度-

- 時短運営：引き続き午前中のみの活動
- 和田文化工芸展協力：企画展示『縄文弥生期の地域』〈11～12月〉と
合わせて開催した『和田文化工芸展』に参加・協力。
- 中央公民館主催事業への協力予定
〈3月予定→感染症影響考慮により中止〉

令和2年度企画展示事業「和田口伝の機織り」-11~12月 和田ふるさと館歴史民俗資料室



令和3年度企画展示事業

「縄文弥生期の地域」及び「和田文化工芸展」-11～12月実施 和田ふるさと館歴史民俗資料室-



Ⅲ 今後について

□地域団体：引き続き協同・協力型の支援をしていく。

□事業系団体：引き続き主導・協同・協力型の支援をしていく。

□社会教育団体：引き続き協力型の支援をしていく。

- ・団体運営上の相談等の傾聴、理解。
- ・状況により、人員募集や広報活動の支援